MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン（R407C対応）

取扱説明書

設備用パッケージエアコン

空冷ヒートポンプ形

PFHK-P140AW(M)-A
PFHK-P224(L)AW(M)-A, AW(M)U-A
PFHK-P280(L)AW(M)-A, AW(M)U-A
PFHK-P450(L)AW(M)-A, AW(M)U-A
PFHK-P560(L)AW(M)-A, AW(M)U-A

空冷冷房専用形

PFK-P140AW(M)-A
PFK-P224AW(M)-A, AW(M)U-A
PFK-P280AW(M)-A, AW(M)U-A
PFK-P450AW(M)-A, AW(M)U-A
PFK-P560AW(M)-A, AW(M)U-A

中温用

PFTK-P125AW(M)-A
PFTK-P200AW(M)-A, AW(M)U-A
PFTK-P250AW(M)-A, AW(M)U-A
PFTK-P400AW(M)-A, AW(M)U-A
PFTK-P500AW(M)-A, AW(M)U-A

オールフレッシュ用

PFK-P167AW(M)-A-F
PFK-P265AW(M)-A-F, AW(M)U-A-F
PFK-P335AW(M)-A-F, AW(M)U-A-F
PFK-P530AW(M)-A-F, AW(M)U-A-F
PFK-P670AW(M)-A-F, AW(M)U-A-F

もくじ

ページ

安全のために必ず守ること ……2
各部の名称とはたらき ……6
運転のしかた ……8
運転温度範囲のめやす ……12
お手入れ ……14
長期間ご使用にならないとき ……16
こんなときには・・・Q&A ……17
保証とアフターサービス ……19
移設・工事・点検について ……21
仕　様 ……22

SAVE 省エネで　守る環境　豊かな暮らし

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
●お読みになった後は、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
●保証書は、『お買上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
●お使いになる方が変わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
●お客さまご自身では、据付・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

WT03510X05

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害、損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般禁止）

（接触禁止）

（水ぬれ禁止）

（ぬれ手禁止）

（一般注意）

（破裂注意）

（感電注意）

（高温注意）

（回転物注意）

（一般指示）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、この本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

⚠ 警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。

指定冷媒以外を封入した場合、故障・誤作動などの不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。

禁止

冷やし過ぎないこと。

- 冷やし過ぎた場合、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

使用禁止

吹出し風を身体に直接当てないこと。

- オールフレッシュタイプの場合、外気を直接吹き出す。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

使用禁止

特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用した場合、著しい性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。

使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- 燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

使用禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- 圧力開閉器・温度開閉器などの保護装置を短絡して強制的に運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。

変更禁止

ユニットを水・液体で洗わないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

電気部品に水をかけないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など高所作業時は足元に注意すること。

- 落下・転倒し、けがのおそれあり。

足元注意

アルコール消毒した場合、周囲に充満するアルコールガスを換気して取り除くこと。

- ガスを取り除かずに電源を入れた場合、引火・爆発するおそれあり。
（本製品は防爆仕様ではありません）

爆発注意

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

感電注意

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- 冷媒は、循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

やけど注意

据付・点検・修理をする場合、周囲の安全を確認すること。（子どもを近づけないこと）

- 工具などが落下した場合、けがのおそれあり。

指示を実行

室内温度を管理すること。

- オールフレッシュタイプの場合、停止時でも外気が流入する。外気温度によって、体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。

指示を実行

換気をよくすること。

- 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。

換気を実行

換気をよくすること。

- 燃焼器具を使用した場合、不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。

換気を実行

ヒューズ交換の場合、指定容量のヒューズを使用すること。

- 指定容量外のヒューズ・針金・銅線を使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。

指示を実行

異常時（こげ臭いなど）や不具合が発生した場合、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- お買い上げの販売店・お客様相談窓口に連絡すること。
- 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。

指示を実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。

指示を実行

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。

- ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。

指示を実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ユニット内に充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。

指示を実行

⚠注意

製品の近くに可燃物を置かないこと。また、可燃性スプレーを使用しないこと。

- 引火・火災・爆発のおそれあり。

使用禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。

使用禁止

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

使用禁止

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。

- ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。

使用禁止

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- 保存品が品質低下するおそれあり。

使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

- 悪影響のおそれあり。

使用禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- 運転停止から５分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。

禁止

ぬれて困るものを下に置かないこと。

- ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。

据付禁止

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- けがのおそれあり。

接触禁止

水の入った容器を製品などの上に載せないこと。

- 水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ホコリが目に入り、けがのおそれあり。

ホコリ注意

保護具を身に付けて操作すること。

- 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。

感電注意

保護具を身に付けて作業すること。

- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

けが注意

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ファンによるけがのおそれあり。

回転物注意

保護具を身につけて作業すること。

- 保護具を付けないとけがのおそれあり。

指示を実行

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- けがのおそれあり。

指示を実行

販売店または専門業者が定期的に点検すること。

- ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、ドレン排水経路が詰まり、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- においが発生するおそれあり。

指示を実行

配管工事をするときに

⚠ 警告

サービスバルブを操作する場合、冷媒噴出に注意すること。

- 冷媒が漏れた場合、冷媒を浴びると、凍傷・けがのおそれあり。
- 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生のおそれあり。

冷媒注意

移設・修理をするときに

⚠ 警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。

禁止

雨天の場合、サービスはしないこと。

- ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

水ぬれ禁止

分解・修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。

指示を実行

⚠ 注意

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ショート・感電・故障・火災のおそれあり。

接触禁止

お願い

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。
・工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

運転を開始する 12 時間以上前に電源を入れてください。
・シーズン中は電源を切らないこと。故障のおそれあり。

ユニット内の冷媒は回収し、規定に従って廃棄してください。
・法律（フロン回収・破壊法）によって罰せられます。

ユニットの使用範囲を守ってください。
・範囲外で使用した場合、故障のおそれあり。

吹出口・吸込口を塞がないでください。
・風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

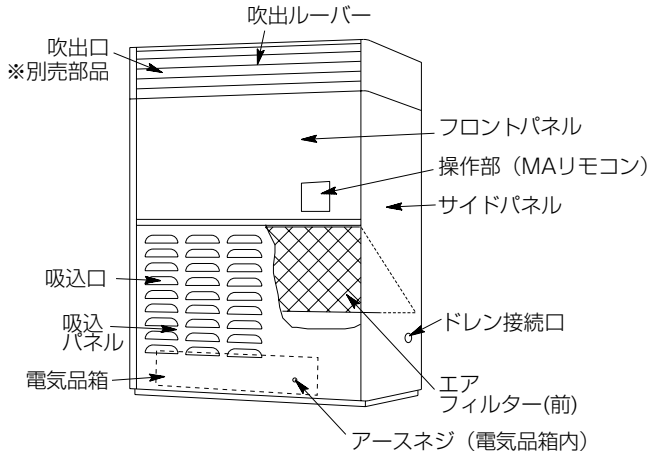
エアフィルターを外した状態で運転しないでください。
・ユニット内部にゴミが詰まり、故障のおそれあり。

各部の名称とはたらき

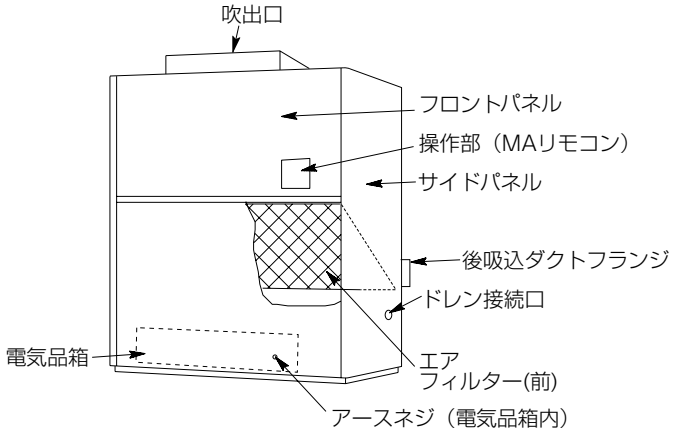
本体部分

室内ユニット

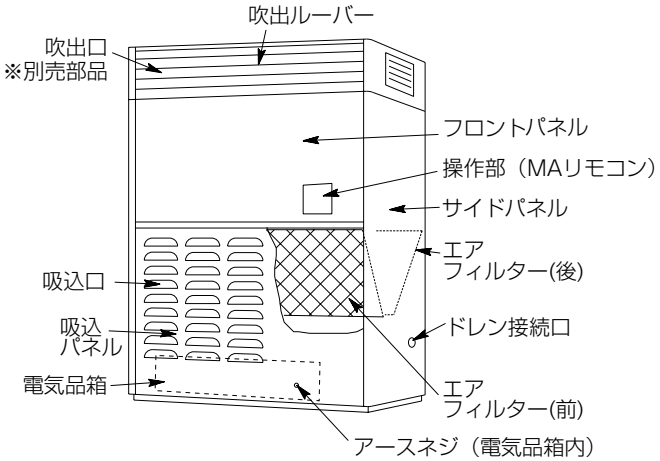
PFAK-P140AW(M)-A・PFTK-P125AW(M)-A
PFAK-P224AW(M)-A・PFTK-P200AW(M)-A
PFAK-P280AW(M)-A・PFTK-P250AW(M)-A



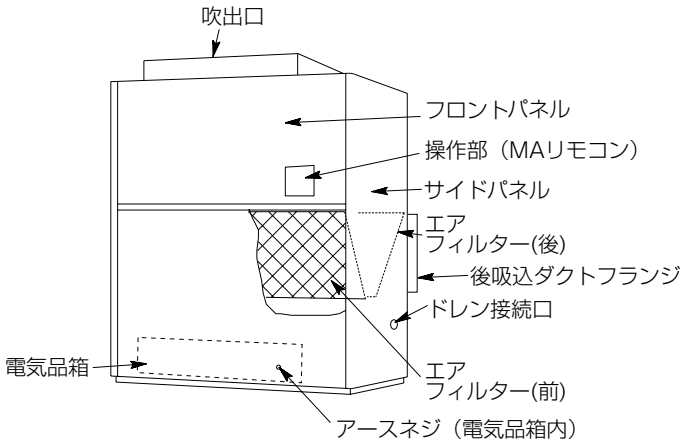
PFAK-P167AW(M)-A-F
PFAK-P265AW(M)-A-F
PFAK-P335AW(M)-A-F



PFAK-P450AW(M)-A・PFTK-P400AW(M)-A
PFAK-P560AW(M)-A・PFTK-P500AW(M)-A

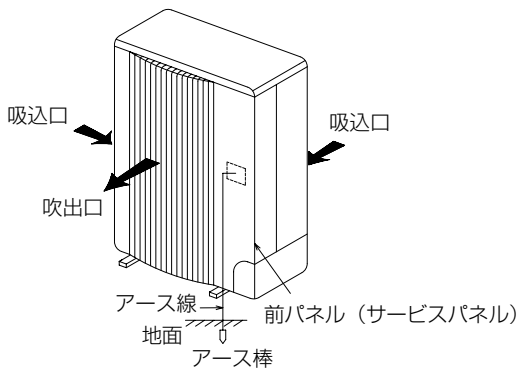


PFAK-P530AW(M)-A-F
PFAK-P670AW(M)-A-F

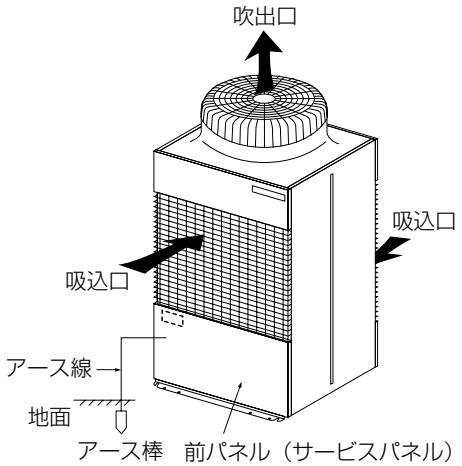


室外ユニット

PUHK-P140AW-A(-BS,-BSG)
PUK-P140AW-A(-BS,-BSG)



PUHK-P224・280(U)AW-A(-BS,-BSG)
PUHK-P224・280LAW-A(-BS,-BSG)
PUK-P224(U)AW-A(-BS,-BSG)
PUK-P280(U)AW-A(-BS,-BSG)



操作部（MAリモコン）

集中管理中 表示
集中コントローラ等で操作を制限されている場合に表示します。

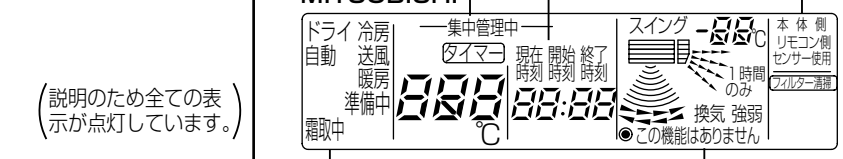
タイマー 表示
連続運転・タイマー運転のモード表示をします。
タイマー運転のときは時刻も同時に表示します。

現在･開始･終了時刻 表示
時刻切換ボタンにより現在、開始、終了時刻を 10秒間表示します。タイマー運転時は常時次の開始又は終了時刻を表示します。

センサー使用 表示
リモコンと室内ユニット、どちらのセンサーを使用しているかを表示します。

設定温度 表示
選択された設定温度を表示します。

フィルター清掃 表示
フィルターの清掃時期がくると表示します。



（説明のため全ての表示が点灯しています。）

運転モード
運転状態を表示します。

上下風向 表示
吹出しの風向を▶印で表示します。

風速 表示
選択された風速を表示します。

ルーバー 表示
スイングルーバーの作動を表示します。停止の場合は表示しません。

室温 表示
運転中の吸入温度を表示します。

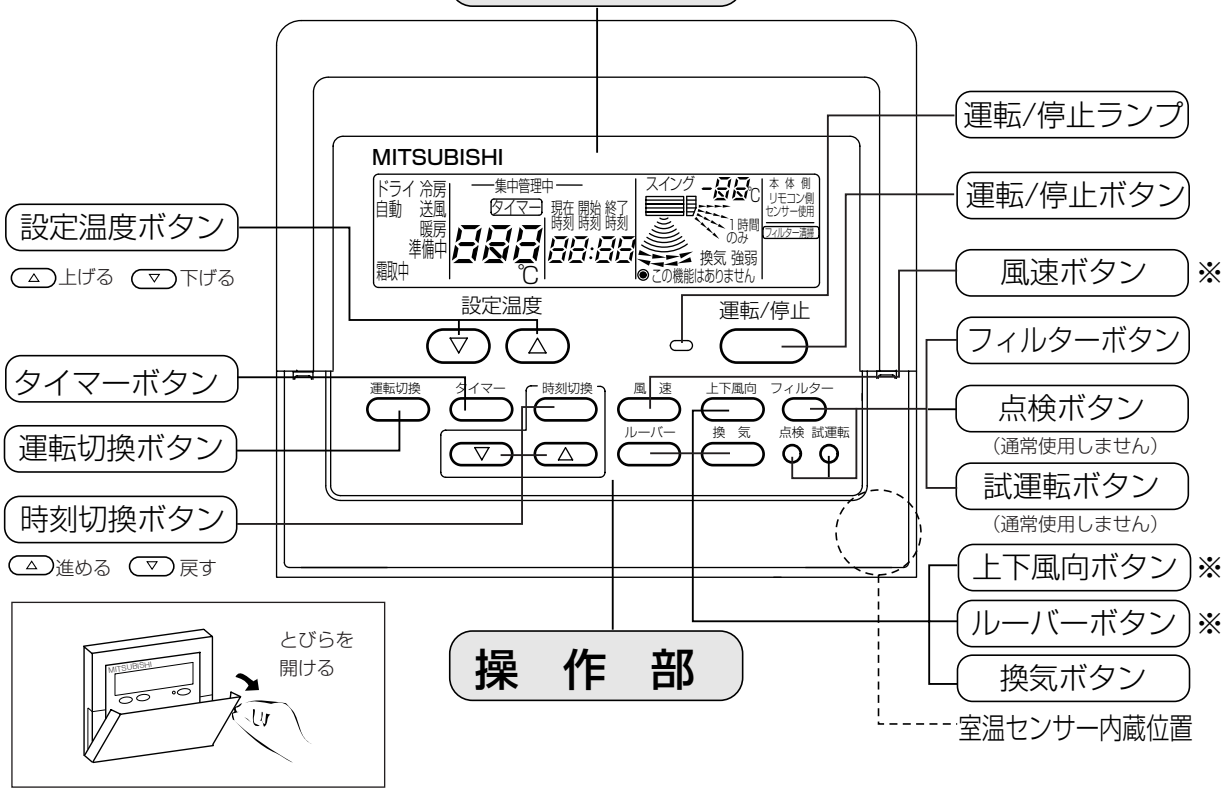
1時間のみ 表示
冷房およびエレクトロニクスドライ運転で弱風下向きにセットしたとき表示します。
（機種により異なります）
1時間経過しますと表示は消え、風向も切換わります。

換気 表示
換気運転時表示します。

◉ 表示
通電時、表示されます。

この機能はありません 表示
室内ユニットにない機能のボタンを押したときに、該当する機能表示と同時に点滅表示します。

表　示　部



操　作　部

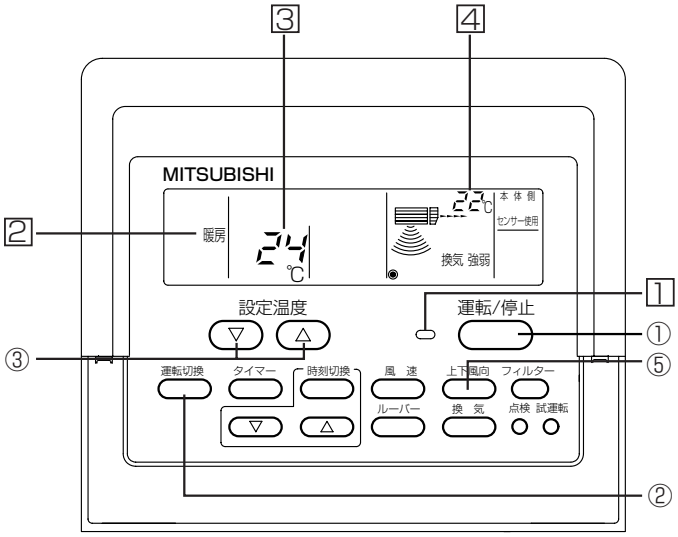
お知らせ

- ※印ボタンの機能は、本ユニットには装備していません。操作ボタンを押しても“この機能はありません”と点滅表示が出ます。
- 1台のリモコンで複数の室内ユニットを操作している場合、代表の室内ユニットが機能を装備していれば、“この機能はありません”は表示されません。

運転のしかた

(1) 運転／停止と運転モード、室温調節のしかた

外部信号等で運転操作される場合は、その操作方法に従ってください。



操作部（MAリモコン）

運転を開始するとき

■（運転／停止）ボタン①を押す。
●運転ランプ1と表示部が点灯します。

お知らせ
●再運転は、下記運転内容となります。

	リモコン設定内容		
運転モード	前回運転モード		
温度設定	前回設定温度		
風　速	前回設定風速		
上下風向	運転モード	冷房	水平吹出し
		暖房	前回設定
		送風・換気	水平吹出し

運転を停止するとき

■（運転／停止）ボタン①を押す。
●運転ランプ1と表示部が消えます。

運転モードを選ぶとき

■運転中に（運転切換）ボタン②を押す。
●1回押すごとに設定が切換わります。
運転モードが2に表示されます。

→ 冷房 → 送風 → 自動 → 暖房 →

お知らせ
●自動モードで運転を開始した時、数秒間実際と異なる運転モードを表示することがあります。

設定温度を変えたいとき

■室温を下げたいとき･･･（▽）室温調節ボタン③を押す。
■室温を上げたいとき･･･（△）室温調節ボタン③を押す。
●1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
設定温度が3に表示されます。
●設定できる指定温度は次の通りです。

冷房運転	暖房運転	自動運転	送風
19～30℃	17～28℃	19～28℃	設定できません

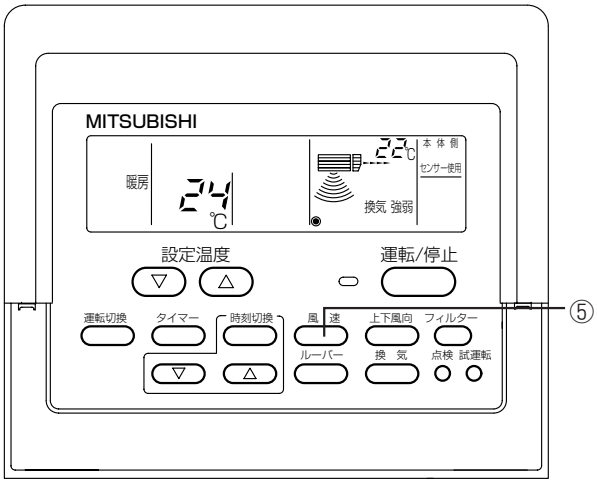
※中温用の冷房運転範囲は、14～30℃です。

室温表示

運転中の吸込温度が4に表示されます。

お知らせ
●表示範囲は8～39℃で、これを超える場合は8℃、または39℃で点滅します。
●複数台の室内ユニットを操作する場合は、リモコンへの表示は、代表室内ユニット（親機）の内容が表示されます。
●室温センサ位置は、“本体”と“リモコン”が選択できます。初期設定は、“本体”となっております。室温センサ位置を“リモコン”に変更される場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

(2) 風速・風向調節のしかた



操作部（MAリモコン）

風速を変えたいとき

■本ユニットは風速調節機能はありません。
1段階のみの固定です。
（風 速）ボタン⑤を押しても“この機能はありません”と点滅表示します。

風向を変えたいとき

※別売プレナムチャンバー取付時のみ
■本ユニットの風向調節は手動で行います。
上下方向：横ルーバを手で上下に動かしてください。
左右方向：縦ルーバをプライヤ等で左右に動かしてください。
注. オールフレッシュ用にはプレナムチャンバーを取付けられません。

お願い

ルーバの角度を大きく変更しますと、冷暖房能力不足、結露などの原因となります。通常、水平・垂直を基準として上下、左右通常20°の範囲内でご使用ください。

(3) タイマー運転のしかた

●タイマー運転には次の 3 つの方法があります。

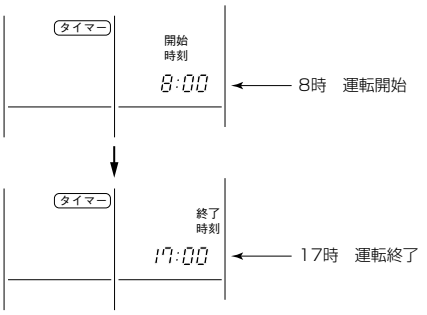
1. 入タイマー運転　運転の開始のみをタイマーで行う
2. 切タイマー運転　運転の停止のみをタイマーで行う
3. 入・切タイマー運転　運転・停止の両方をタイマーで行う

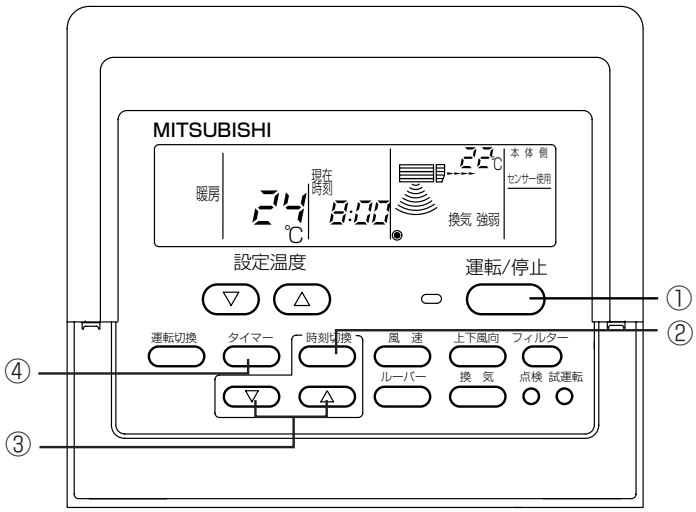
●タイマー運転の設定は、24時間以内に入・切各1回以内です。

●タイマー運転中（タイマーの表示がされているとき）は時刻設定・変更はできません。

●タイマー時刻設定は10分単位です。

タイマー設定表示例





操作部（MAリモコン）

現在時刻の設定を行うとき

■ 時刻切換 ボタン②を押し、表示を 現在時刻 にする。
●1回押すごとに以下のように切換わります。

→ 現在時刻 → 開始時刻 → 終了時刻 → 表示なし →

■ △ ボタン③を1回押すごとに1分進み、
▽ ボタン③を1回押すごとに1分戻る。
●ボタンを押し続けると早送り（早戻し）になります。
●時刻は1分単位→10分単位→時間単位の順に変化します。
●設定終了後約10秒でリモコンの表示は消えます。

入タイマー運転を行うとき

■ 時刻切換 ボタン②を押し、現在時刻 を確認し、表示を 開始時刻 にする。
■ △ または ▽ ボタン③を押して開始時刻を設定する。
■ 終了時刻 を --：-- の表示に設定する。
● --：-- の表示は23：50と0：00の間に表示されます。
■ タイマー ボタン④を押し、表示を タイマー にする。

切タイマー運転を行うとき

■ 時刻切換 ボタン②を押し、現在時刻 を確認し、表示を 終了時刻 にする。
■ △ または ▽ ボタン③を押して終了時刻を設定する。
■ 開始時刻 を --：-- の表示に設定する。
■ タイマー ボタン④を押し、表示を タイマー にする。

入・切タイマー運転を行うとき

■入タイマー・切タイマー両方の設定をする。
■ タイマー ボタン④を押し、表示を タイマー にする。

タイマー運転を解除するとき

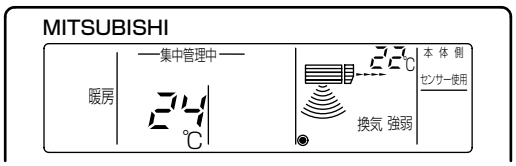
■ タイマー ボタンを押してリモコンの表示を タイマー →消灯にしてください。

お知らせ

●タイマー運転が終了してエアコンが運転または停止すると、次の運転は自動的に連続運転となります。

(4) その他の表示・点滅について

集中管理中表示



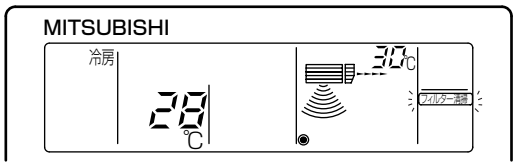
●外部信号等で、操作を制限しているときに表示します。
制限される操作は以下の通りです。
・運転／停止
・運転モード
・設定温度

※設定温度は、リモコンによる操作を行っていたときの設定温度が表示されます。外部で設定されている温度を表すものではありません。
表示温度を変更する場合は、一旦リモコン操作モードに変更する必要がありますので、お買上げの販売店にご相談ください。

フィルター清掃の点滅

出荷時は、フィルター清掃時期を表示しない設定にしています。ご使用の環境条件に合わせて定期的に清掃願います。
本ユニットは、一般的な空気条件で使用した場合、1250時間ごとおよびシーズン始めと終わりに清掃してください。

※フィルタ清掃時期の表示を行う場合は、販売店にご相談ください。
その場合の表示、操作は以下の通りです。

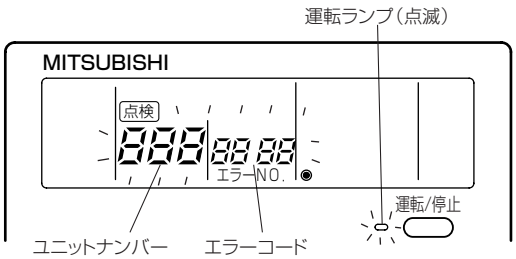


●フィルター清掃時期をお知らせします。
フィルター清掃を実施してください。
● **“フィルター清掃”表示をリセットする場合**
フィルター清掃後、(フィルター)ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。

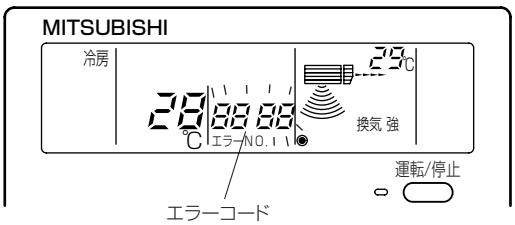
お知らせ

● “フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安時間で表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

エラーコードの点滅



●「運転ランプ」と「エラーコード」の両方が点滅している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
ユニットナンバー、エラーコードをメモして空調機の電源を切り、サービスをお申しつけください。



●「エラーコード」のみが点滅している場合
（運転ランプは点灯したまま）
空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。
エラーコードをメモして、サービスをお申しつけください。

運転温度範囲のめやす

運転温度範囲のめやす

設備用パッケージエアコン

空冷ヒートポンプ形

PFHK-P140AW(M)-A
PFHK-P224・280・450・560(L)AW(M)-A,AW(M)U-A

・冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	―	−5〜43℃
湿球温度	15〜24℃	―

・暖房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	15〜28℃	―
湿球温度	―	−15〜15.5℃

空冷冷房専用形

PFK-P140AW(M)-A
PFK-P224・280・450・560AW(M)-A,AW(M)U-A

・冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	―	−5〜43℃
湿球温度	15〜24℃	―

中温用

PFTK-P125AW(M)-A
PFTK-P200・250・400・500AW(M)-A,AW(M)U-A

・冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	―	−15〜43℃
湿球温度	10〜22.5℃	―

オールフレッシュ用

PFK-P167AW(M)-A-F
PFK-P265・335・530・670AW(M)-A-F,AW(M)U-A-F

・冷房

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	―	20〜43℃
湿球温度	15〜30℃	―

もっと知りたいとき

暖房運転について

●リモコンに“霜取中”の表示中は冷風を出さないよう室内ファンをコントロールします。

●運転を停止しても風が出る：運転停止後約1分間室内ユニット内の余熱を排熱するために、室内ファンが回ることがあります。また、別売ベーパーパン加湿器を組込んだ場合は、水蒸気発生防止のため約3分間室内ファンが回ることがあります。

送風運転

●送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。
換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

換気連動運転とは

●エアコンの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

霜取中とは

●外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っているときに表示します。
霜取運転は約10分程度（最大15分(P140形は20分)）で終わります。

●霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
※室外ユニットが複数台接続されている機種は、暖房運転と霜取運転が混在した場合、送風機は運転します。

上手な使い方

上手な使い方　“パッケージエアコン”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度（室温）は最適に

●冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。

●冷やしすぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

冷房時は熱の侵入を少なく

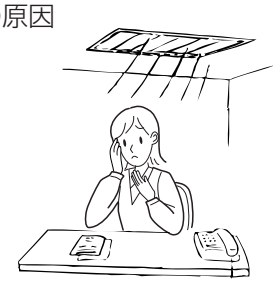
●冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。

●出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

●長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。

●特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。



フィルターの清掃を

●フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。

●フィルターは通常の環境では1250時間ごとおよびシーズンの始めと終わりに清掃してください。

●操作部(MAリモコン)は、フィルターサイン表示が可能です。

ときどき換気を

●長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。

●送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。

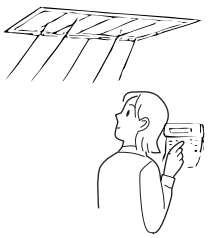
●冷房・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。　当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

室内の温度ムラ解消に風向調節を

●冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。

●暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。

※本ユニットの風向調節は手動で行います。
（別売プレナムチャンバー取付時のみ）



お手入れ

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- けが・感電のおそれあり。
- ファン・回転機器により、けがのおそれあり。

感電注意

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

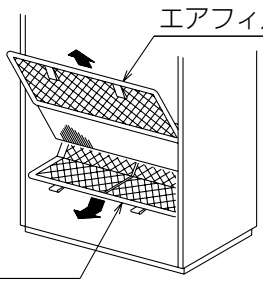
- けがのおそれあり。

接触禁止

エアフィルタの清掃

・エアフィルタにゴミがたまると、冷暖房能力の低下や故障の原因になります。

1 エアフィルタを取外す。

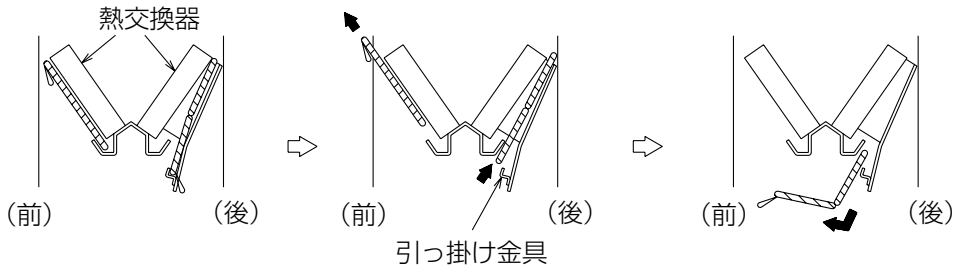


450・560形
中温用：400・500形
オールフレッシュ用：530・670形のみ

1. 吸込パネルを手前に引いて開けてください。
2. 450·560形,400·500形（中温用）,530·670形（オールフレッシュ用）の場合は開いた吸込パネルを上に持ち上げて取外してください。
3. 左図に従ってフィルタを取外してください。

140·224·280形,125·200·250形(中温用) 167·265·335形(オールフレッシュ用)	エアフィルタ前のみ
450·560形,400·500形(中温用) 530·670形(オールフレッシュ用)	エアフィルタ前·後

※エアフィルタ後は、背面からでも取外し可能です。
詳しくは、ユニットドレンパンに貼り付けている説明書をご覧ください。



① 取付状態

② 前:斜め上方に引き出す
後:一旦上方に押し上げ、フィルタをレール引っ掛け金具からはずす

③ 後:斜め下方引き出し、フィルタ中央部で折り曲げ、手前に引き出す

2 取外したエアフィルタのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いする。

- ●汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。
- ●50℃以上の熱いお湯をかけないでください。変形することがあります。
- ●もみ洗いや強く絞ることはさけてください。
- ●すすぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。

3 水洗いしたときは、日陰でよく乾かす。

直射日光や直接火に当てて乾かさないでください。変形・変色することがあります。

4 エアフィルタを元どおりに取付ける。

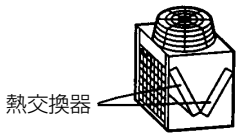
パネルの清掃

中性洗剤をやわらかな布にふくませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭きとります。

ベンジン・シンナーは使用しない。

室外ユニット熱交換器の洗浄

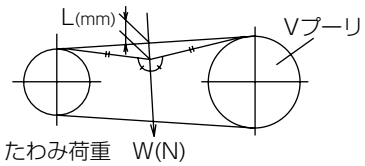
長時間エアコンを使用しますと、室外ユニット熱交換器にホコリなどがつき、熱交換が悪くなって冷暖房能力が低下します。
洗浄方法についてはお買い上げの販売店にご相談ください。



Vベルトの張り調整

室内送風機のVベルトは、運転時間の経過と共に全長が伸びて張力が低下します。
この状態で運転を続けると、変磨耗や異常音が発生し、故障の原因になります。
Vプーリの調整等詳細は、お買い上げの販売店にご相談ください。

【調整時期】
- 初　　回：　24～28時間後
- 2回目以降：　2000時間毎
- 交　　換：　5000時間毎



ベルトの一本当りの張力は、たわみ量Lの値を下式にて計算し、その時のたわみ荷重Wが右表の範囲内になるようにセットしてください。

L=0.016×C　　C:プーリの軸間距離(mm)

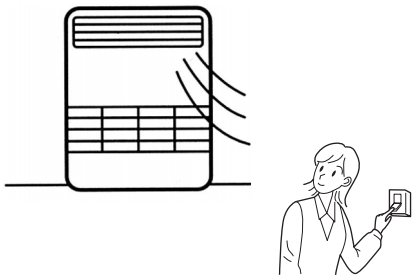
製品形名	モータープーリー（PCφ）50/60Hz	ファンプーリー（PCφ）	Vベルト	たわみ荷重W（N/本）50/60Hz
P125･P140	93.9/77.9	180	A50･1本	9/9
P200･P224	140/116.7	224	A56･1本	13/13
P250･P280	140/116.7	212	A55･1本	13/13
P400･P450	118/118	280	B65･2本	13/11
P500･P560	135/135	280	B64･2本	18/16
P167-F	93.9/77.9	224	A53･1本	9/9
P265-F	140/116.7	280	A59･1本	13/13
P335-F	140/116.7	280	A59･1本	13/13
P530-F	118/118	315	B67･2本	13/12
P670-F	125/125	315	B66･2本	19/17

※新しいベルトを張る場合は、たわみ荷重Wの約1.15倍程度に調整するようにしてください。
※上記静風圧部品以外での組合せのベルトたわみ荷重の値は、マニュアルなどを参照ください。

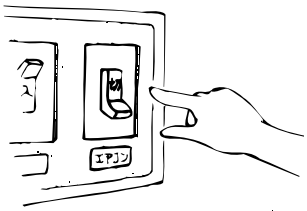
長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

(1)4〜5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。



(2)室内・室外ユニットの電源を切る。



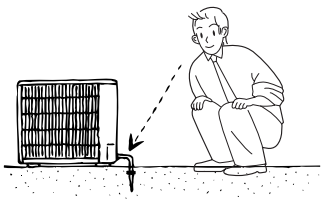
再度使い始めるとき

■下記作業(1)〜(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

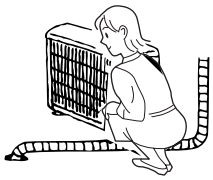
(1)フィルターを清掃して、取付ける。

(2)室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。

(3)アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。



(4)ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。



(5)運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

こんなときには・・・Q&A

●動かない！

リモコンの運転表示が点灯しない。	■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。 ユニットの電源が入っていないと、リモコンに通電表示（ ◉ ）が点灯しません。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示がでている。	■集中コントローラ等で、操作を制限されている場合に表示します。 ■運転操作設定を遠方（外部）入力にしている場合に表示します。

●勝手に動き出した！

運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	■リモコンで入タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を開始します。 ■外部入力信号にてON操作した場合に運転を開始します。 ■応急運転スイッチを有効にしている場合、電源を入れると自動的に室内ファンが運転を開始します。 ■停電自動復帰機能に設定している場合は、運転中に停電または電源を切ったとき電源を入れると、自動的に運転を開始します。 ※停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買上げ販売店にご相談ください。

●勝手に停止した！

運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	■リモコンで切タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を停止します。運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。 ■外部入力信号にてOFF操作した場合に運転を停止します。 ■外部入力信号を重複して入力すると運転を停止します。

●運転が止まらない！

停止ボタンを押したのに停止しない。	■暖房運転中に停止ボタンを押されますと、余熱排除のため約1分間、室内ファンが回ることがあります。 ■ベーパーパン加湿器を組込んだ場合、水蒸気発生防止のため約3分間、室内ファンが回ることがあります。

●よく冷えない、暖まらない！

よく冷えない。よく暖まらない。	■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ■フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルターの清掃をしてください。 ■室内ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐ冷房（暖房）運転しない。	■空調機を保護するため、マイコンの指示で止まっています。 再運転をした場合は、冷房（暖房）運転するまで約3分間お待ちください。

●音がする！

水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。	■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店にご相談ください。

●水蒸気・水（室内ユニット）が出る！

室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。	■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。
室外ユニットより水・水蒸気がでる。	■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。 ■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。

●暖房中運転、運転が止まる！

暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。そのまま約10分ほどお待ちください。

●リモコン設定および表示について

リモコンのタイマー運転がセットできない。	■スケジュールタイマーが接続されている場合は、スケジュールタイマーでセットしてください。
リモコンに“HO”の表示がでる。	■初期設定（約3分）を行っているためです。そのままお待ちください。停電からの復帰時や室内ユニットまたは室外ユニットの電源を入切した場合など表示します。
リモコンにエラーコードが表示される。	■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。 ※自分では絶対に修理しないでください。エアコンの電源を切り、お買上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

保証とアフターサービス

■保証書は室外ユニットに添付しております。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安［保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

下記は、以下のご使用条件の場合です。

（1）頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）

（2）製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。

②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）

③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。

④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

⑤頻繁な発停のある場合、運転時間が長い場合。（24時間空調等）

表-1．「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］	主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モータ（ファン、ルーバ、ドレンポンプ用など）		20,000時間	バルブ（電磁弁、四方弁など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー（サーミスタ、圧力センサーなど）		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

注1．　本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2．　この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）の為にお役立てください。
また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

●補修用部品の保有期間について

このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は通商産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安［交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。］

表-2．「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルタ	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルタ		1年	加湿エレメント		5年
ファンベルト		5,000時間	クランクケースヒータ		8年
平滑コンデンサ		10年			

注1．　本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2．　この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）の為にお役立てください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

●当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事が出来ます。

■保証書について[保証期間は、お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

●保証書はお買上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

●保証期間中、万一故障した時は、お買上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。**[保証期間経過後の修理は有償になります。]**
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。

●良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検（フィルタ清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」及び定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

●転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

●エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

移設・工事・点検について

■移設・廃棄について

①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。
②据付けや移設時に冷媒を追加充填する場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

この製品はフロン回収・破壊法・第一種特定製品です。

●フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
●この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

1）この製品は、地球温暖化防止のために、適正にフロン類を回収する必要があります。
2）本ユニットには二酸化炭素9.3ton～33.7tonに相当するフロン類が使用されています。
3）上記2）の数値は、本ユニットが接続されている配管長等により異なります。
システム全体での数値は、室外ユニットに表示されています。

この表示は、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識していただくための表示です。エアコンの取外し時は、フロン類の回収が必要です。
表示されている数値は、システム全体の最大冷媒量（システムの容量により変化）を能力当たりに換算した冷媒量を元に算出しています。

■設置場所について

①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。
②次の場所への据付けは避けてください。

・可燃性ガスの洩れる恐れがあるところ
・酢（酢酸）を多量に使用するところ
・海浜地区等塩分の多いところ
・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
・粉や蒸気が多量に発生するところ
・油煙のたちこめるところ
・湿気の多い場所
・高周波加工機（高周波ウェルダー等）のあるところ
・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。
詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。
④病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

●エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。
②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカやヒューズが切れることがあります。
③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買上げの販売店にご確認ください。
④据付場所によっては、漏電ブレーカの取付けが義務付けられています。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
⑤ブレーカ・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

①据え付けにあたっては、エアコンの質量に充分耐える場所で騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
④エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買上げの販売店にご相談ください。

仕　様

製品仕様表

空冷ヒートポンプ　PFHK形，空冷冷房専用　PFK形

50/60Hz

項目 ＼ 形名			140形		224形		280形		450形		560形	
			室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット(2台)	室内ユニット	室外ユニット(2台)
電源			三相200V　50/60Hz									
冷房能力 (kW)			12.5/14.0		20.0/22.4		25.0/28.0		40.0/45.0		50.0/56.0	
暖房能力 (kW)			15.0/17.0		23.6/26.5		30.0/33.5		47.5/53.0		60.0/67.0	
外径寸法	高さ (mm)		1748	1260	1748	1715	1748	1715	1899	1715	1899	1715
	幅 (mm)	(U)AW	760	1050	980	990	1200	990	1200	990	1420	990
		LAW	–	–		1290		1290		1290		1290
	奥行 (mm)		485	330(+20)	485	840	485	840	635	840	635	840
風量 (m^3/min)			45	85	70	185	90	185	140	185(X2台)	180	185(X2台)
騒音値 (dB)	AW	冷房	49	47	53	56/56	55	57/57	53/55	56/56(X2台)	57/60	57/57(X2台)
		暖房		49		58/58		59/59		58/58(X2台)		59/59(X2台)
	UAW	冷房	–	–		56/56		57/57		56/56(X2台)		57/57(X2台)
		暖房	–	–		56/57		57/59		56/57(X2台)		57/59(X2台)
	LAW	冷・暖房	–	–		49/49		49/49		49/49(X2台)		49/49(X2台)
製品質量 (kg)	AW		108	112	123	215	147	220	235	215(X2台)	257	220(X2台)
	UAW		–	–		230		235		230(X2台)		235(X2台)
	LAW		–	–		275		275		275(X2台)		275(X2台)

中温用　PFTK形

50/60Hz

項目 ＼ 形名		125形		200形		250形		400形		500形	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
電源		三相200V　50/60Hz									
冷房能力 (kW)		11.2/12.5		18.0/20.0		23.6/25.0		36.0/40.0		45.0/50.0	
外径寸法	高さ (mm)	1748	1260	1748	1715	1748	1715	1899	1715	1899	1715
	幅 (mm)	760	1050	980	990	1200	990	1200	990	1420	990
	奥行 (mm)	485	330(+20)	485	840	485	840	635	840	635	840
風量 (m^3/min)		45	85	70	185	90	185	140	185(X2台)	180	185(X2台)
騒音値 (dB)		49	47	53/53	56/56	55/55	57/57	53/55	56/56(X2台)	57/60	57/57(X2台)
製品質量 (kg)	AW	108	112	123	215	147	220	235	215(X2台)	257	220(X2台)
	UAW	–	–		230		235		230(X2台)		235(X2台)

オールフレッシュ用　PFK-F形

50/60Hz

項目 ＼ 形名		167形		265形		335形		530形		670形	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
電源		三相200V　50/60Hz									
冷房能力 (kW)		15.0/16.7		23.6/26.5		30.0/33.5		47.2/53.0		60.0/67.0	
外径寸法	高さ (mm)	1748	1260	1748	1715	1748	1715	1899	1715	1899	1715
	幅 (mm)	760	1050	980	990	1200	990	1200	990	1420	990
	奥行 (mm)	485	330(+20)	485	840	485	840	635	840	635	840
風量 (m^3/min)		20	85	35	185	45	185	70	185(X2台)	90	185(X2台)
騒音値 (dB)		40	47	47/47	56/56	48.5/48.5	57/57	48/50	56/56(X2台)	50/53	57/57(X2台)
製品質量 (kg)	AW	110	112	126	215	150	220	239	215(X2台)	262	220(X2台)
	UAW	–	–		230		235		230(X2台)		235(X2台)

注 1 .上記仕様値は標準条件での値です。風量機外静圧を変更しますと、能力、騒音値も変化します。

注 2 .上表の騒音値は、A特性です。
騒音値は、JIS規格に準じて反響音の少ない無響音室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると周囲の騒音や反響等の影響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。

注 3 .冷房専用形（室外ユニットPUK形）は暖房運転できません。

注 4 .LAW形の室外ユニットはヒートポンプとなります。

別売部品

●電気ヒータ

ユニット内に組み込んで、配線工事をすることで暖房運転ができます。

●温水ヒータ

温水ボイラなど温水の供給設備がある場合、この温水ヒータを組み込むと温水暖房ができます。

●蒸気ヒータ

蒸気ボイラなど蒸気の供給設備がある場合、この蒸気ヒータを組み込むと蒸気暖房ができます。

●加湿器（ベーパーパン式・蒸気スプレー式・水スプレー式・透湿膜式）

暖房のときは室内の温度が下がります。健康のためにも、家具や調度品などの乾きすぎをさけるためにも、適度な加湿が必要です。加湿器を組み込むことにより室内を適当な湿度に保ち、理想的な暖房運転ができます。

●その他

圧力計（P125,P140,P167形は除く）・進相コンデンサ・遠方操作キットなど、豊富な別売部品を用意しています。

（上記別売部品は、機種により組み込みできない場合があります。詳しくはお買上の販売店にお問い合わせください。）

様式1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）　　年　月　日 ～　年　月　日

管理番号	

施設所有者						設備製造者			
施設名称		系統名				設置年月日			
施設所在地		電話				使用機器	型式		製品区分
運転管理責任者		電話					製番		設置方式	現地施工
点検事業者	会社名	責任者					用途	空調用	検知装置
	所在地	電話				冷媒量（kg）	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数（%）
使用冷媒	R407C	初期充填量（kg）		点検周期	基準	実績（月）				

作業年月日	点検理由	充填量（kg）	回収量（kg）	監視・検知手段（最終）	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	ﾁｪｯｸﾘｽﾄNo.	確認者

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/roei/

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？

- ●運転音が異常に大きくなる。
- ●室内ユニットから水が漏れる。
- ●電源が頻繁に落ちる。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止　故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。

お買い上げ店名　　電話

お買い上げ(据付)日　　年　　月　　日

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT03510X05